

東部地区復興まちづくり協議会・地権者連絡会 ③只越町・天神町 議事要旨

記

- 日時 平成 26 年 6 月 14 日（土）10 時 00 分～12 時 00 分
- 場所 市役所第 4 庁舎 3 階第 7 会議室
- 次第

1. 市長からの挨拶（東部地区担当者 川崎係長紹介）
2. これまでの経緯について
3. 災害危険区域について
4. 第 2 種区域の復興事業の進め方（条件付きで住宅が建てられる区域）の復興事業の進め方について
5. 意見交換について

先程の説明資料に関して、「グリーンベルトを考える会（2回）」は行われていない。第 1 回目は流会になり、説明だけを聞いた。第 2 回目も 4 人しか出席せず、流会になった。そのときはグリーンベルトを造ることで、只越町、港町、浜町の被災がどれくらい防げるといふシミュレーション図を提示してもらえる約束をしたが、以降開催されていない。また、「みなとかまいし地区会議」は釜石市の開催ではなく、約 30 の町内会、商店会等による民間団体が市を招請をして説明をいただいただけであり、記述から取り消してほしい。

→ グリーンベルトの話ですが、1 回目は流会、2 回目も参加者が 4 人と少なく、開催そのものを今後考えるべきとの意見も出されて終わっています。ただ、その間に地権者への説明会を開催し、特に若い方々の意見をいただく別立て開催もしており、訂正させていただきたいと思います。地区会議も市の主催でなければ表現は不適當ということであれば、修正します。

フロントプロジェクト1、2、3について順次質問をしたい。

1点目。フロントプロジェクト1は、市民会館を中心に大町駐車場、商店街、イオンに関係した部分で、道路のかさ上げも含めて一番先に進められている。その用地買収、あるいは補償問題が全部解決したのか、あるいは何%ぐらい終了したのか？

2点目。その地権者への代替地を市民会館解体後に与えることが多々言われており、その人数は15、16人で、単価もほぼ同じで話が進んでいるという話は本当なのか？地区住民は文化活動を長くやっており、鉄筋コンクリートで築後36年のため、今ある部分、中ホールやその他をなんとか活用できないかと話していた。しかし、災害復旧事業あるいは復興交付金で早く整備を完了させたいとの話だった。その市民会館を解体する用地に代替地が確保された経過と選定方法を聞きたい。

3点目。フロントプロジェクト2について。市役所ができると説明されていた只越町周辺で聞きたいのは、天神町の復興住宅関係である。1年かけて委員長とその関係事務所が設計を行ったが、全然使えなくなり、天神・小白浜併せて7500万円が無駄遣いとなった。残念なことだが、その件に誰も謝罪しないし、責任も取らない。こういう行政で本当に市民に信頼されて今後の事業が進むのか？

4点目。フロントプロジェクト3。市に協力して土地を売った人から聞いたが、市の用地買収は3分の1も進んでいないとのこと。7mから5mかさ上げする盛土を行うにあたり、国道から供与された土で30cmごとの転圧を本当に行うならよいが、市民が住んでから沈下した、亀裂が入った、水が出てきたなどがないよう、きちんと管理・監督してほしい。

- 1点目の用地買収などについては、大町エリアの方々へ用地協力をお願いした結果、市民ホール、情報交流センター、復興公営住宅の用地として、ほぼ皆様の合意をいただいています。市民文化会館の移転の経緯ですが、市民ホールは30数年前に建設された建物であり、現在守るべき耐震基準を満たしておらず、経年劣化も著しく、活用には手直しが必要です。結果として、市の費用負担を少なくし、フロントプロジェクト1として、大町エリアに皆さんの活動拠点「商業とにぎわいの拠点」となる施設を新しく造ることを考えています。
- 2点目の代替地関係ですが、用地交渉を進め、概ね合意をいただいています。市民ホールがあった場所を宅地にして、用地交換の代替地にしたらどうですかとお話しし、15区画ぐらいの代替地を準備しました。市民会館を解体後に宅地造成を行い、提供することを考えています。
- 3点目の天神町の復興公営住宅ですが、当初、「未来のまちプロジェクト」に位置づけ、100年後を見据えてスタートしたものの、資材高騰や職人不足で入札が3度不調になり、なかなか施工業者が決まらない状況になりました。そこでコンセプトは大事にしながら、早急な復興住宅の建設が何より緊急な課題と考え、従来の直接施工方式から建物買い取り型方式に変更し、早急な住宅建設を目指したところです。ただ、当初設計のコンセプトは新しい業者も引き継ぐようお願いし、現在その形で進んでいます。

→ 4点目の浜町のかさ上げですが、東部地区の住宅地をできるだけ多く確保したいという我々最大の課題に対して造成計画を検討してきました。総合的に検討した結果、このかさ上げをしないと皆さんの住宅再建するエリアがどんどん小さくなるのが心配され、浜町のかさ上げ高が決まりました。高くなる部分のあるかさ上げを行い本当に沈下しないのかですが、沈下を起こらなくするためにボーリング調査を実施しており、地盤にもし軟弱層があれば、対策を講じた上でかさ上げを行います。盛土の施工管理等、事業のボリュームも大きいため、委託も含め、CM方式※を活用し施工ミスや手抜きがないよう市職員がしっかり現場を管理します。

※CM方式…発注者の側に立ち、設計の検討や工事発注方式の検討、工程管理、コスト管理などの各種マネジメント業務の全部又は一部を行うもの。

1点目。フロントプロジェクト1の15人の代替用地は、どのように決定されたのか？約200戸の移転対象者のうち15軒だけ、なぜ最優先でそこに行くことができるのか？例えば、200の希望者を全部公平に抽選させる方法もあったのではないかと？

2点目。天神復興住宅の設計であるが、市民の血税は一円たりとも無駄にできないものなのに、人件費や材料費の値上がり、職人がいないなどが実現できない理由にされている。それは釜石に限ったことではないので、なぜそうなったかをよく検証して処理しないと、同じことが起きるのではないかと？

3点目。フロントプロジェクト3だが、さっきの施工方法は責任を持って管理監督し設計過程のチェックも行うとのことだが、それは間違いはないか？整備が一日も早く進む方法を何とか検討してほしいし、造成の完成時にはブロックごとにボーリングを行い、地耐力をよく調べ、きちんと市民に公開、説明してほしい。

→ 1点目について、フロントプロジェクト1の代替え地ですが、地権者は60数人、筆数で80筆です。個別に全て用地交渉を行いながら、代替地が必要なのか、復興公営住宅に入りたいのか、はたまた代替地も復興公営住宅も要らないなどのご希望を伺い、代替地の提供検討をしてきました。市民文化会館は、現時点ではまだ建物があり、宅地提供するのに非常に時間がかかりますが、希望される方15名に対して、土地も15区画取れそうなので、その方々を市民文化会館の土地分譲先に決定しました。

→ 2点目について、設計料はこども園ではその設計が生きており、全てがムダになった訳ではないですが、実現に至らなかったあたりはしっかり検証したいです。

→ 3点目について、きちんと施工管理を行うことは間違いありません。これまでの市業務において、市職員は個々が担当する自分の現場をしっかり管理してきたと自信を持って言えます。市民への説明も、例えば造成、詳細に入る前のより詳しい説明会をはじめ、必要に応じて説明会を行いたいと思います。

(副市長) 市民文化会館の解体と同時に、左側の大渡側の復興住宅は鉄筋コンクリート、もう1つは鉄骨造の復興住宅を実現する設計が決まり、この公営住宅を市が買い取るという方法で進めています。市が予定価格で発注しても不調続きで業者が見つからないといったことを反省して、民間が造ったものを市役所が買い取るというやり方に切り替えた第1号が天神復興住宅です。

この「未来のまちプロジェクト」は、復興の中で皆さんが住む住宅を本当に誇りの持てるものにしようとの観点から考え、集合住宅ではもう一度コミュニティを作れる仕組みを勉強しながら募集して、全国から70数社応募があり、世界に名だたる審査員の伊東先生を委員長に、みんなで議論をして決めた経緯があります。

整備にあたり今の資材の高騰など、このデザインが生かせないことは反省しています。このことは国にも理解してもらいましたが、買い取り住宅づくりに応募された方は皆、「かまいし未来のまちプロジェクト」を勉強して提案してくれており、趣旨はきちんと生かされています。

復興公営住宅については、津波で家を流され仮設住宅に住んでいる者としては、早期完成を願っている。どんな形であれ、1年でも2年でも早くできるほうが良い。県で計画した平田や野田の住宅は既に完成し、みんなが入居できている。普通のアパートみたいなデザインでもいいので、早く完成させてほしい。

また、前にも釜石新聞の裏側に「仮設住宅の集約」という記事が出ていた。仮設住宅から転出した人を初めに復興公営住宅に入居させるという優先権が今度生じるのではないかと不安に思っている。それでなければ、仮設住宅の集約はできないと思うが、そこはどうなのか？

→ 市で買い取りを行う天神の復興公営住宅は、デザインが良かったからそれで事業者を選定した訳ではありません。今後も審査会を開いて総合評価で選定する業者を決めていきます。今はとにかく早く造ることを最優先に考えて取り組んでいるところです。

入居の優先順位ですが、公営住宅は基本は公募で、複数あった場合は抽選で決まりますので、仮設住宅の集約に伴い優先されることは現在考えていません。また、仮設住宅の集約ですが、入居者の皆さんの意見を最大限尊重する中で、進めていきます。

このパンフレットの TK3 のところに関して、詳細を聞くために復興推進本部に行ったら、道路を 2m ずつ縦横広げるという話が出てきた。昭和 20 年、艦砲戦で釜石は壊滅、被害を受けたので、その戦災復旧の道路 2m 拡幅を今行おうと私は言われた。これにより TK3 の人たちは、縦横 2m ずつ取られるといつも震えているので尋ねるが、そういう話はあるのか、ないのか？

- 東部地区、特にこのバイパスから西側は、一部道路の拡幅計画を作っているところもありますが、状況に応じて見直しもこれから進めていきたい、その見直しを至急詰めたいて考えています。また、市役所の前の通りですが、今現在の計画上で拡幅をお示ししたのは、この学校通りと郵便局の前の細い通りです。今後、そのフロントプロジェクト2の計画見直し等も含めながら、道路計画をそのまま生かすのか、見直しするのかは、しっかり皆さんとお話をしたいです。
- 現在の計画は、拡幅計画がある場所も路線も戦災復興のとおりであり、現状に合っていない。ただ、それを踏まえて、今はそのままやるのではなく、皆さんの意見をいただき、本当にそれが必要なかどうかを点検、修正していくという答えだったと思いますが、その通りで今後の展開を考えていきたいです。

くどいようですが、戦災復旧の拡幅について絶対ないという確定はいただけないか。

(副市長) 市役所は、前の駐車場を含めて皆さんが集まりやすい広い土地にして、庁舎も形の良いデザインにして、後ろはあまり日陰にならないようにと、いろいろ勉強する中で、こういう都市計画を決定しました。しかし、市長が冒頭に申し上げたとおり、皆さんの復旧を支援したい。皆さんがこのまちに住むのであれば、どんどん建築申請をしてほしい。その時に敷地で 2m バックが必要では家が建てられないという声が強ければ、都市計画決定の見直しをしなければと思います。都市計画の変更も視野に入れて、皆さんとこれから話し合っていきたい。でも、一方では道路が広くなるとありがたいとの声も住民にはあるので、しっかりと議論をしていきたいです。

市で学校通り（道路）をなぜ広げるのか？ 前も地震が収まってから津波が来るまで 30 分あった。道路を広げれば犠牲者が出ないという問題とは全然違う。広げても意味はなく、地権者を泣かせるだけで、考え直してほしい。

- 現在の計画では学校通りを拡幅する計画になっており、歩道を今より広げて、スムーズに学校跡地に逃げられることを目的としています。また市役所の前の計画（フロントプロジェクト2）の見直しも併せて考えねばならないと考えており、それと併せて、学校通りの道幅の話同様皆さんと議論し、今後、見直しも含めてしっかり議論したいと考えています。

造成工事完了時期の図面のTK4の場所です。3ヶ所ぐらい市が買い上げている土地の利用の仕方、そして、最終的にどう処分するのかをお聞きしたい。その下に白い場所は多分ポンプ場だと思うが、それでよいかをお聞きしたい。というのは、商売をしており、只越という組織にいるが、このTK4の辺りで商業モールを形成しようと考えている。市で考えている商業について聞きたい。

→ TK4（只越町1丁目付近）の引渡しは平成29年1月以降と一番遅いですが、国道45号よりも西側は数10cmのかさ上げで、全面買収してかさ上げ後に返すエリアではありません。そのため、先ほど説明した諸条件が整っている土地を買い、例えば公共施設で移転が必要になる方に土地をお渡しすることを考えています。それと、この白抜きのところはポンプ場予定地ですが、ここは公共施設用地として市が全面買い上げをしたいと考えており、現在用地交渉を進めています。また、ご提案のあった商業モールの話ですが、商工労政課も含め、最大限どういうことができるかを今後ともしっかり詰めていきたいです。

（東部地区を担当する施工・設計会社の中央ブロック共同提案体メンバー紹介）

特に市長にお願いしたい。さまざまな公共事業で企画・実行時に委員会や懇話会が作られているが、利益誘導型の委員は入れないでほしい。委員長や委員は、本来は何の委員会でも「公正でなければならない」と必ず規約に書いてあるが、市長に施設整備を請願、陳情した人が、その施設建設委員会の委員になり、最後には委員長になった。新聞、テレビ等ではこの人がよく出るが、果たしてこれが正常な人選なのか。もう1つの公共施設、市役所だがここも一企業体から複数の委員が選ばれている。ちょっと利益誘導型ではないか。少なくとも市民から疑惑がないよう、広範な人選をお願いしたい。

施設を被災地周辺に造る場合、被災者の中から誰かを入れてもらえれば、地権者、地主、近隣との話し合いの窓口にもなれるのではと思う。

（市長）今日は本当に皆さん、朝から大変長時間にわたってご意見をいただき、ありがとうございます。最後にご提言もありましたが、我々も地域の皆さんのために公平にやっているつもりですが、改めて確認しながら進めさせていただきます。

今日いろいろとお話がありました。1つは、このまちづくり協議会。今までは東部全体での話し合いでしたが、やっと地区ごとの説明をする段階になり、今日はこういう形でさせていただきました。できるだけ、これからは細分化して、小さな地域ごとに話し合いをするような機会を設けていきたいです。

先ほどのグリーンベルトなど、なかなか思うように集まらない会もありますが、できるだけ会を開催し、情報をきちんと提供したいと思います。

復興住宅に入りたい、いつ入れるんだという方々のために、早く造れという、先ほどのお話がありました。東部地区では、土地が今やっどこに何戸の公営住宅という形でまとまったというご挨拶をさせていただきましたが、やっどこまでできました。

復興住宅をどうやったら早く造れるかということで、買い取り制度を進めています。少ない予算の中でも最大限、将来を見据え良いものを造ることだけを考えておりますので、その点をご理解をいただきたいと思えます。

それから、市役所のことについて、本当に皆さんにご迷惑をお掛けしたわけですが、市役所は今の事業の流れでいくとやはり最後に建てざるを得ないかなと思えます。あくまで被災者の皆さんの復旧復興が第一で、これが終了したら建てるということですが、けれど、どこにどういう手順で建てるかだけは早く決めて、皆さんにお知らせしないと、どこにお店を造ったらいいんだ、家を建てたらいいんだという話になるので、場所だけは早く決めていきたいと思えます。

最後に商業に関するご意見もありましたが、今回の東部地区のまちづくりの一番の目的は、先ほど申し上げたとおり、釜石の中心街で拠点性のある場所づくり、これから釜石に多くの人を訪れるまちにしようということです。そのためにグリーンベルトを造っている訳で、駅から下りて浜町に行くのに30分で行ける、まちをずっと歩いて楽しめる、ある程度のエリアの中で散歩したり買い物したりして楽しめる場所は、ここしかないと考えております。

ただ、そのためには道路沿いの商店街の皆さんがそれを踏まえてそれぞれのお店屋さんの特徴を出して、来た方々に楽しんでもらえるようにしてほしい。これは次の段階になろうかと思えますが、我々も精一杯努力をしますから、一緒にそういったまちづくりをしていただければありがたいです。

今日は本当にありがとうございました。

以上